

第2回日本計算機統計学会大会
論 文 集



昭和63年5月19日～20日

会場：日本電気工業技術短期大学校(川崎市)
日本電気福岡ビル(福岡市)

統計学パッケージHALBAU

高木廣文（聖路加看護大学, 統計学），柳井晴夫（大学入試センター）
服部芳明（日本原子力事業株式会社），市川雅教（東京工業大学）
佐藤俊哉，丸井英二，佐伯圭一郎（東京大学医学部）

はじめに：HALBAU (High quality Analysis Libraries for Business and Academic Users) は、実際の調査研究に使用可能なデータ解析用統計学パッケージとして開発された。調査データの入力・編集から各種の分析結果の出力までを、データ解析に不慣れな研究者でも、メニュー画面への応答により、容易に実行できるように設計されている。

システムについて：使用言語はNEC-N₈₈日本語BASIC(86) (MS-DOS版)であり、PC9800シリーズの全機種と98XA, XL, XL²上のインタープリタ、もしくはコンパイル後MS-DOS上で実行する。図に示したように、解析方法は基礎統計15種類、多変量解析8種類に区分されているが、各区分内には複数の手法を含むものが多い。データ入力には付属のスクリーンエディタにより、最大約5000変数まで入力可能である。ただし、多変量解析等で一度に分析可能な変数の個数は約80程度である。多くの手法では分析できるケース数に制限はないが、最尤解や順位を求めるような分析では、(ケース数)×(変数の個数)が約16000以下となる必要がある。また、他の形式のデータファイルとの相互変換も、ある程度は可能である。

図 HALBAUのシステム構成

